

| | | | | | |
|--|---------------|------|---|-----|-----|
| 科目名 | 開講時期 | 開講学年 | 必修/選択 | 単位 | 時間 |
| 公衆衛生看護学実習 I | 後期 | 3年 | 必修 | 1単位 | 45h |
| 担当教員名 | メールアドレス | | オフィスアワー | | |
| ◎小川将太、上田愛 | | | 火～金(10～16時) メールで事前にアポイントを取ること | | |
| 授業の概要 | | | | | |
| 地域包括支援センターの実習をとおして、地域の多様な場において行われている保健活動の実際を学ぶと共に、対象の特性や地域の社会資源を理解する。さらに、地域における多職種連携やチーム医療の実際について学ぶ。 | | | | | |
| キーワード | 到達目標 | | | | |
| 地域包括ケア チーム医療 | 他職種連携 社会資源 | | 1. 地域の日常生活圏域で行われている身近な保健・医療・福祉活動について理解することができる。 2. 地域包括支援センター内での連携や主治医・訪問看護ステーションの看護師・訪問介護員・介護支援員および民生委員等との連携について理解することができる。 | | |
| 学習内容 | | | | | |
| 1. 実習期間：1週間（5日間） 第1日目 実習施設周辺の地区踏査 学内実習（事前学習の確認と補習） 第2日目 臨地実習（地域包括支援センター） 第3日目 臨地実習（地域包括支援センター） 第4日目 臨地実習（地域包括支援センター） 第5日目 学内実習（実習まとめ、事後学習） 2. 実習施設：沼津市内の地域包括支援センター 3. その他 ・実習オリエンテーションに出席し、事前学習に取り組むこと ・最終日の学内実習は、レポート作成をとおして学びを深める ・実習終了後は、記録物・課題を指定された日時までに提出すること | | | | | |
| 受講要件 | | | | | |
| 「基礎看護学実習Ⅱ」を修得していること。 保健師課程で履修する学生であること 3年前期の保健師課程の科目を履修していること | | | | | |
| レポート | その他 | | 合計 | | |
| 30% | 70% | | 100% | | |
| 教員からのメッセージ | | | | | |
| 地域では、さまざまな健康レベルの人々が生活しています。地域で行われている、個人や家族、地域組織を対象とした保健・医療・福祉活動について、ぜひ積極的に学んでください。 | | | | | |